

ご協力ありがとうございます！

【1月の寄付品】(敬称略)

(株)OREC、岡村美恵、舞鶴幼稚園、長瀬光輝、諸江葉月、原田敬子、ひよどり、HIS、伊藤文和、ライオン(株)

2月の予定

3日 九電工ワンコイン贈呈式  
19日 生松台ふれあい市(予定)



### 鬼木大明神 今月の一句

どんなに悲しい不幸な災難もそのまま永久に続くことはないのだ！どんな災難であっても解決策は必ずある。災難を頭の中から追い払うためには何か作業を見つけて頭も手足も休まずに仕事に一心に没頭することだ！忙しさは災難を忘れさせるのだ！常に「もう少しだ」と言って進むのだ！冬の後は春は来る。どんな不幸の中にも幸福がひそんでいる。だからそれだけ余計に明るく愉快な心をもって振る舞おう。元気を出そう！必ず前途に光がさしてくるものだ！！**喝** 悲しいのはあなただけではありません。



### 体験農園だより

1月は作業や行事など特にありませんでしたが、多くの参加者が収穫のために畑へいらっしゃいました。秋冬でも豊作だったようで、「きれいなキャベツを収穫できた」と喜ばれる方もいらっしゃいました。来年度も喜んでいただけるように頑張りたいと思います。また今年度は新たな研修生が来日できず、よく研修生の状況を探ねられたような気がします。それだけ心配してくださっていることに大変ありがたみを感じました。次年度こそは新しい研修生と共に、参加者の皆様を畑でお迎え出来たらと心待ちにしております。(飯川)

### 長期ボランティアの紹介

西日本プラント工業(株)からボランティアで来ている長瀬です。1月13日から5月20日まで滞在予定です。慣れない農作業で悪戦苦闘の日々ですが、たくさんの方々とふれあうことができるとともに、色々な経験ができる良い機会だと思っております。(長瀬)



### OB 研修生の紹介

今回紹介する OB 研修生は、バングラデシュのアンゲールさんです。アンゲールさんは2009年の研修生で、西日本研修センターでの研修は2回目でした(1回目は中部日本センター)。バングラデシュでは医者として活躍する傍らで様々なボランティア活動を行っています。

＜帰国してから何をしていましたか？＞

私は日本から帰国後、医者として医療に従事する傍ら、自分が立ち上げた青年スポーツ関連(登山)の組織の事務局長として、活動の運営をしています。

私たちの仕事は、丘陵地帯に住む人々(山岳民族)の安全な食糧、環境、山の保護のために活動をしています。また、1994年以来、私たちの青年登山グループで子供の森計画の名の下に毎年植樹を続けています。

＜日本での研修、食事などはどうでしたか？＞

日本とオイスカは私の人生観を大きく変えました。日本食は安全で、私のお気に入りです。

＜これからの計画は？＞

将来の私の計画は、庶民のために自分の人生を捧げていきます。

＜オイスカメンバーの皆さんに一言＞

OISCA メンバーの皆さん、母なる地球の環境を守るために素晴らしい活動をされています。皆様のこれからの活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

以上、以前よりも増してパワフルに活躍しているアンゲールさんでした。



バングラデシュ国旗



ネパールの山を登山した時の写真(中央)



←山岳民族への支援活動中

# まるごと!西日本



Instagram facebook

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部  
福岡市早良区小笠木 678-1  
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322  
E-mail: [oiscantc@oisca.org](mailto:oiscantc@oisca.org) 検索 **オイスカ西日本**



日頃の様子を更新中!是非チェックお願いします!

2022年2月号付録

### ワンコインチャリティプログラム

オイスカ西日本研修センター及び海外研修生サポートで毎年10月から年度末に向けて、ワンコイン(500円)での募金を募っております。法人個人含めて、より身近にオイスカの活動を知っていただく機会として今年で10年目を迎えました。毎年多くの方々よりご支援いただいております。今年は新型コロナウイルスのパンデミックの影響で、皆様大変な思いをされておりますが、その中でもオイスカ支援の輪が広がっており、本当に感謝いたします。今年度は海外研修生の入国はありませんでしたが、うまくいけば4月には8ヶ国1地域より10名の研修生が入国するかと思います。皆様方よりご支援いただいた募金は大切に活用させていただきます。今後ともご支援よろしくお願いいたします。(廣瀬)



※九州電力グループ様よりオンラインにて寄付の贈呈を頂きました。(辻総務部長)

ワンコインサポートプログラムへのご協力ありがとうございます!



### 第14回「we love オイスカチャリティゴルフコンペ」開催

1月16日(日)オイスカチャリティゴルフコンペが伊都ゴルフ倶楽部で開催されました。当日は小雨交じりの天気ではありましたが各企業より61名の方にご参加をいただきました。

今年もコロナ禍の影響により、表彰式等は行わず短縮した形での静かな雰囲気ではありましたがご参加いただきました方にはプレーをしていただき、各賞をはじめオイスカの農産物を皆様へお持ち帰りいただきました。当日のチャリティ益金は総額107,500円でした。また今年の栄えある優勝者は水口恒夫様(九州旅客鉄道)です。おめでとうございます。今年度はパンデミックにより海外の研修生の来日も出来ずに皆様を会場でお迎えできませんでしたが今回ご参加をいただきました皆様をはじめ、賞品のご提供を下さいました協賛企業の方々には厚く御礼を申し上げます。

これからもゴルフコンペ開催をまいりますので、ぜひ引き続きご参加をいただきますようお願いいたします。みなさま本当にありがとうございました。(満川)



参加者記念写真

## 農場研修風景

1月19日にOB研修生ジェリミー(フィリピン)が2年間の研修を終えて帰国しました。(ジェリミーの帰国に合わせて稲作担当のマルビンも一時帰国しました)これでセンターには研修生がいなくなりました。新しい研修生の入国の目途も立たず、早くても4月の入国ということなので、それまで農場の運営をどうしようかと頭を悩ませています。

しかし季節は待ってくれませんし、1月15日にはようやく今年植えるトマトの種まきをして、現在かわいい子葉がちょっと寒そうに育っています。そして毎日収穫も盛りだくさんで、冷たい手に息を吹きかけながら毎朝収穫と販売準備をしています。そのような日常の中でも、ボランティアで農作業のお手伝いに来てくれる方も頻繁にあり、そのような方々にも支えられながらスタッフ一同がんばっています。新型コロナウイルスの影響で困っている方は沢山いると思いますが、そんな状況の中だからこそ生まれる新しい何か(人とのつながりや新たな可能性)を大切に、更に発展させていきたいと考えるこの頃です。(豊田)



↑ミニトマトの苗

## 5年間の実習を終えました！

農業(酪農)の技能実習生として大分県日田市の酪農農家アイ・アイ・ディ牧場で実習を行っていたショーさん(フィリピン)が5年間の実習を終え次に特定技能として福岡県八女市の酪農農家に移るようになりました。来日当初は、小さな体で酪農の仕事などできるのか心配でしたが持ち前の勝負な性格と努力もあり実習先でも頼れる存在となっていました。新しい場所でも同じフィリピンからの実習生を数名受入れているようでしたので、そのリーダーとしての役割を期待されていました。今後はオイスカとは別の登録支援機関の下での活動になるため直接に係ることはなくなりますが、引き続き彼女の活躍を見守っていききたいと思います。ショーさん、がんばれ！(彦坂)



ショーさんが5年間貯めてセンターに寄付してくれました！



## 1月19日OB研修生ジェリミーさん帰国

私は2010年から2013年まで技能実習生として3年間沖縄で働きました。今回2回目の来日で西日本研修センターのOB研修生として有機農業を勉強しました。

私が日本に来てすぐにコロナがひろまり、いろいろな活動が出来なくて残念でした。本当は15か月の予定でしたが、研修が2年間に延びました。私は日本へ来る前に結婚して生まれたばかりの子供を残して来ました。家族に早く会いたいと思いましたが、家族のために一生懸命毎日頑張りました。

センターでは化学肥料を使わない堆肥やボカシを使ったお米や野菜を作りました。センターで作った野菜は安心して食べられて美味しいです。センターの生活で規律を守ること、時間を大切に使うことも勉強しました。他の国の研修生と一緒に研修を受けたこともためになりました。言葉や宗教も違うけど目的は同じです。日本語の勉強も頑張りました。N4の試験を受けて合格できて嬉しかったです。先生達のおかげです。フィリピンに帰ったらオイスカ又エバエシハセンターで日本で経験したことを教えていきたいです。(ジェリミー:フィリピン)



## オイスカ会員様紹介(山口県会員 荒瀬美子様)

私がオイスカに入会したのは昭和49年頃でした。その当時、「オイスカの1万人集い」の緑化大会に参加をしてから、「苗木一本の国際協力街頭募金」をはじめました。毎週日曜日に地元山口市をはじめ近隣の町に出向き、雨の日も雪の日も募金活動を行い、道行く人の中には1万円札を入れていただく方もあり、当時としてはめずらしく感謝でいっぱいでした。また海外での植林活動では小学生・中学生・高校生に交じり、私にとってはじめてのタイ王国訪問でした。現地では言葉は通じなくても子供たちと一緒に汗を流し植林活動をすることができました。

国内においては宮城県名取市の海岸林再生プロジェクトにも参加をしました。広大な敷地100ヘクタールに植え付けられた37万本位の松林の広さに驚き、10年前に植えられた松は5メートルほどにも成長して、これから先、松が立派に成長するようにと祈りを込めて手入れをしました。これからも私たちのオイスカ活動への参加を通して地球温暖化防止の一助になれば幸いです。(荒瀬)



宮城県名取市の海岸林再生プロジェクト現場にて(本人は右から3番目)

## 富士通株式会社様(フィランソロピー協会会員)より、災害備品をいただきました！

先日、熊本県益城にある、富士通株式会社様(フィランソロピー協会会員)より、災害備品をいただきました。簡易トイレ、水、非常食(クッキー、乾パン)、ブルーシート等、トラック2台分の大量の品をいただきました。思い起こせば、平成28年4月、甚大な被害を与えた熊本・大分大地震。九州ではめったにない大地震で、テレビやネットニュースで被害を目の当たりにし、「オイスカとしても何かお手伝いができないか」と活動を開始しました。

当時は、家屋等の被害が多く、手を付けられない状況でしたので、我々は独自で、「被災された方々が、自宅に住めない状況で、避難所や仮設住宅での生活を余儀なくされている。オイスカにできることは、自宅に戻れない方々の地域整備、農地保全を手伝おう！」と、西原村周辺の道路際、水田、畑、山間部等の草刈りを数十回行いました。当然研修生も一緒に頑張ってもらいました。毎年10か国前後の国から来日している研修生の本来の研修ではありませんでしたが、各国で災害が起きた際、日本での活動も勉強になる筈！と、皆で頑張りました。今でも毎年訪問し、親しくなった農家の方々との交流を続けています。

早速いただいた備品の乾パンを食べてみました。もっと素朴なものかと思いきや、ほんのり甘みがあり、心安らぐ味わいで、ペロッとひと缶食べてしまいました。

防災備品、使われないのが一番かと思いますが、それを無駄にせず、必要な方に差し上げる活動、とっても大切だと思います。オイスカも国内外問わず、社会に貢献できるNGOであり続けたいと思います。(廣瀬)

